

平成23年5月6日

各位

会社名 フクダ電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 孝太郎
(JASDAQコード6960)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 藤原 潤三
電 話 03-5684-1558

「東日本大震災」の当社グループへの影響に関するお知らせ

この度の東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。
お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

現時点において把握しております当社グループへの影響につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社グループの主な対応状況に関して

被災地の当社グループ各社は、震災後からお取引先医療機関 並びに 医療機関を通じて患者様の安否確認やライフラインの整備状況把握など、情報収集に努めました。

ME機器の販売を中心に展開している事業では、現地の支援活動に寄与できるよう、救護マット、携帯型パルスオキシメータ、人工呼吸器、生体情報モニタ、AEDなどと、各機器に使用します消耗品類を当社グループのフクダ物流センターを通じて被災地に供給しました。

お取引先医療機関を通じて患者様にレンタルしております在宅医療サービス事業においては、震災後 東京本社から被災地までの各営業拠点をリレーし、被災地の営業拠点に酸素濃縮器や酸素ボンベなどを供給し、患者様にお届けしました。

また、計画停電に対応するため 被災されました患者様の主治医から指示を仰ぎ、在宅酸素療法中の患者様には代替器や予備ボンベ、人工呼吸療法中の患者様には代替器や非常用バッテリーなどの手配を行い、お届けしました。

このほかにも、被災地の医師会や医療機関、被災地を支援する医学会からの支援要望に対し、全力で対応しております。

さらには 被災地の医療機関でご使用いただいている 当社医療機器を安心かつ安全にお使いいただくための機器点検や確認作業、避難をされている在宅医療サービスをご利用の患者様サポートなど、フクダ電子グループは全国のサービスネットワークを駆使し、被災地の皆さまの復興支援に引続き全力をあげて取り組んでまいります。

2. 製造拠点の状況と製品供給に関して

製造拠点の状況ですが、当社グループのフクダ電子多賀城研究所(宮城県多賀城市)が津波の影響を受け 現在も操業を停止しており、復旧・再開に向けた仮事務所を宮城県仙台市青葉区に設置いたしました。

尚、多賀城研究所で生産しておりました製品の一部は当社の白井事業所（千葉県白井市）にて代替生産を開始いたしました。

製品供給の状況ですが、現時点では一部を除き、殆どの取扱製品のご要望にお応えできておりますが、多賀城研究所で生産しておりましたカテーテル類や消耗品類の一部において、今後納期遅延や供給ができない期間が生じる可能性があります。

また、電子部品の一部を供給いただいている取引先が被災しており、当社が白井事業所で製造している ME 機器の一部において、今後納期遅延や供給ができない期間が生じる可能性があります。

これらの事象が明確になり次第、速やかに当社グループ各社を通じてお客様へご連絡申し上げます。

フクダ電子グループは一日も早い製品の安定供給に向けた取組みを、取引先各社を含め、全力で対応してまいります。

3. 節電への取組みに関して

当社はかねてからオフィスや生産拠点における休憩時間中の消灯やデマンドシステムを導入し、拠点単位での消費電力可視化を行い、節電に取り組んでおりました。

平成23年3月13日に計画停電の実施が発表された以降は、オフィスや生産拠点において必要最低限への減灯を実施したほか、空調や上層階を除くエレベータの使用制限、オフィスでのOA機器類の一部使用制限や待機電力の消灯などを実行し、約40%の節電を既に達成しました。

夏場にかけて予測される電力逼迫による影響を鑑み、夏季は外部からの熱を遮断、冬季は内部温度の放熱を遮るガラスフィルムの導入や、例年実施しておりますクールビズの期間を前後1ヵ月ずつ延長するなど、オフィスや生産拠点における一層の節電対策に取り組んでまいります。

4. 業績に与える影響に関して

平成23年3月期における影響に関しましては、別紙（特別損失の計上と平成23年3月期業績予想の修正に関するお知らせ）にて開示しておりますので、ご参照願います。

平成24年3月期への影響に関しましては、現段階において合理的に算定することが困難な状況です。予想可能となった時点で速やかに開示いたします。

尚、当社の平成23年3月期決算発表は平成23年5月13日（金曜日）を予定しております。

以 上